

弥生日和

～弥生の日常風景～

令和5年度伊那弥生ヶ丘高等学校 第1回学校評議員懇談会 記録

- 1 日時 6月6日(火) 15:00～17:00
- 2 場所 本校大会議室
- 3 参加者
 - (1) 学校評議員：4名出席(3名欠席)
 - (2) 職員：校長、教頭、事務長、教務主任、進路指導主事、学習指導係主任
生徒指導主事、保健主事、生徒会係主任、PTA係主任、学校職員代表
- 4 内容
 - (1) 授業参観 15:15～15:55 全学年・全教科で公開
 - (2) 懇談会 16:00～17:00
 - ① 学校長挨拶
 - ② 自己紹介
 - ③ 本校教育活動の概要説明…学校評価、進路指導係、学習指導係、生徒指導係、生徒会係

[質疑応答]

- a. 学校評議員：昨年度の学校自己評価について、R3はR4の誤りでよいか。経年変化の折れ線グラフは上限を100で全項目統一した方がよい。進路指導について、国公立大学の合格者は推薦が多いのか。
- b. 進路指導係：圧倒的に多い訳ではなく一般入試と五分五分に近づいている。しかし、共通テストでの高得点者が減っており、得意な3～4教科なら勝負になるのが現実であるため、公立大学合格者が多く、5教科7科目の国立は減っている。得意な科目でチャレンジしていくスタイルを確立していくことも考えたい。
- c. 学校評議員：探究がきっかけで進路活動のモチベーションがプラスになればよい。生徒指導に関わって、本日参観した授業は落ち着いている。発話もできていた。自転車通学者は多いか。100人を超える自転車通学者がいる中で自転車事故が少ないのは驚きである。ヘルメット着用の努力義務化指導では、着用・非着用による致死率の違い等の事実を説得材料としてもよい。
- d. 学校評議員：昨年度末の学校自己評価の数値が低いが先生方は自己肯定感

をもってもよいと思う。進学時にはできる教科や点をとれる方法で生きていってもよいと生徒に伝えたことがあった。

同窓会の総会では茶道部、華道部、邦楽部、器楽部の各生徒の発表・協力を感謝している。今度の弥生祭では、同窓会がどら焼きと饅頭を販売するのでよろしければご協力いただきたい。差額は生徒会に還元する。弥生祭1日目は公開するのか。

e. 生徒会係 : 3日目は一般公開の予定だが、1日目は保護者への公開を検討している。

f. 学校評議員 : 校舎内であいさつをしてくれる生徒がいてうれしい。校風委員のあいさつ運動を通じてさらにあいさつができる生徒が増えるとよい。弥生祭の一般公開が楽しみである。

g. 学校評議員 : 学校評価表では数値がイコール客観的評価とは考えていない。生徒・保護者・職員の各評価のズレに着目し、どこからそれが生まれているかを分析することも1つの視点ではないか。

4月22日の授業公開で来校した際、2年生の女子に尋ねたところ、グループ活動は中学より高校の方が楽しいとの返答。理由は、同じような目的意識の人たちの中で意見を言えることの良さを感じるからとのことであった。知識習得以外の教育活動も大事である。他校の授業参観と比較すると、弥生の方がタブレットの活用が進んでおり、品行方正な印象。他校は理科の実験では個々が自主的にスマホ等で撮影をしていた。

本校では学校設計マネジメントノートを活用し、毎週水曜日15分間のマネジメントタイムで自己認識による自己設計力をつけようとしている。先生に言われたことはやるが大学進学後が心配な生徒もいる。

h. 学校評議員 : 学校評価などでは数字の定量性が大事である。個人の考えが数値に反映されやすいため%よりモノにフォーカスしたほうがよい。例えば、授業録画を資料とするなどしてお互いに共有するとよい。大学では、コロナ禍のオンライン授業が録画により繰り返し視聴できたため分からない箇所を克服してテスト点が高くなった。弥生の生徒は横のつながりが強いと感じたので、これを生かしてのばしていくとよい。また、話の受け取りが上手である一方、インタビュー側になると受け身の印象。互いに教え合う場面をつくるとよい。

④ 諸連絡

⑤ 閉会